

佐事研だより



佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 小川 洋起

会 員 各 位

新年度がスタートしてから早くも 2 ヶ月が過ぎようとしています。会員の皆様におかれましては多忙な日々をお過ごしのことと思います。

今年度も調査広報部では会員の皆様に役立つような情報を発信していきたいと思っております。まずは、平成 18 年度末に行われた理事会（職免分）報告からです。

平成 18 年度 第 2 回理事会報告

平成 18 年度佐賀県公立小中学校事務研究会第 2 回理事会が、平成 19 年 3 月 13 日（火）にアバンセにて開催されました。その時の内容を報告します。

1. 会長より

- ・ 懸案だった事務改善検討委員会が発足することになりました（3 月 22 日開催）。共同実施の全県実施をはじめとした動きが出てくるものと思われます。5 月の総会にて経過報告を行う予定です。
- ・ 全事研は管理職としての『事務長の設置』を法に反映させるべく中教審へ意見しており、我々も今後の情勢に注目したいと思います。

2. 情勢報告・協議等

① 中央情勢（全事研評議員会報告）

中教審ワーキンググループによる「今後の教員給与の在り方について」で、メリハリのあがる給与構造設定、副校長・主幹・指導教諭といった新しい職設置、そして教職調整額の見直しについて言及がありました。

また、教員特別手当、特殊教育関係の調整額、多学年担当手当等については廃止を含めて、一方、部活動手当や修学旅行等引率指導手当、管理職手当等については拡充の方向で検討する必要があるとしています。併せて評価とその処遇への反映についても検討の必要があるとされています。なお、事務職員については管理職としての「事務長」職の設置について検討中だそうです。

② 事務改革の進捗&今後の進め方について

別紙資料『事務改革協議に関する経過と今後の展望』（会員へはプリント及びメールにて配布）にて報告がありました。

各地区でも今後の事務改革について活発な論議が交わされ、今後の方向性について会員相

アクセス！ (<http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/>)

互の理解が深まるように期待しています。

3. 第 2 2 回大会について

- ① 期日 5 月 25 日(金曜日)
- ② 場所 アバンセ大ホール
- ③ 内容 午前：開会行事・総会行事及び講演『心をつなぐ対話 ことばは心の架け橋』
講師 副田ひろみ氏：フリーアナウンサー
午後：文部科学省より行政説明『今後の学校事務のあり方と学校事務職員の役割について』並びにプレゼンテーション『学校事務を取り巻く課題の現状と展望』

④ 総会の予定議案と検討課題

- ・ 1 号議案 18 年度事業報告について（事務局、研究部、研修部、調査広報部より）
- ・ 2 号議案 18 年度決算報告及び監査報告について（事務局より）
監査日程（4 月 24 日 13 時）
※18 年度監査委員は次回理事会、総会で監査報告
※19 年度の監査は三神・佐城より選出し、次回理事会で報告
- ・ 3 号議案 役員の承認について
各地区より選出する専門部員については次回理事会までに旧理事でメール・FAX にて事務局次長へ報告
※会長以下、常任理事役員については次回理事会で提案
- ・ 4 号議案 19 年度事業計画について（事務局、研究部、研修部、調査広報部より）
- ・ 5 号議案 19 年度予算について（事務局より）
19 年度予算については次回理事会にて提案

4. 各専門部及び事務局より

- ・ 研究部・・・新たに全事研福岡大会研究発表班の設置を検討しています。それにとともに、佐事研ビジョン研究班を廃止し常任理事会に活動内容の移行をお願いしたい。また、各班員の若返りを図りたいと思っています。
- ・ 研修部・・・次回理事会にて報告予定です。
- ・ 調査広報部・・・例年どおり、年数回の佐事研だよりの発行を中心に活動を行っていきたいと思っています。
- ・ 事務局・・・19 年度予算案については次回理事会にて提案予定です。18 年度予算の補正予算（報償費増額）について承認をお願いします。
18 年度の各種会議等の活動経過については別紙にて報告します。

5. その他

- ・ 大会冊子の保存について
現在、点在保存されているこれまでの大会冊子を電子化（PDF ファイル）して保存することを考えています。夏休み等を利用し、事務局でその作業を行う予定です。今後は原稿から直接 PDF 変換して教育センターのサーバーへ保存し、佐事研 HP で閲覧できるよ
アクセス！ [\(http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/\)](http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/)

うにしたいと考えています。

・今後の日程

- 4 月 17 日 14 時～ 常任理事会 (多久市 南多久公民館)
- 4 月 24 日 13 時～ 会計監査 (多久市 南多久公民館)
- 14 時～ 理事会 (多久市 南多久公民館)
- 5 月 25 日 10 時～ 第 22 回大会 (佐賀市 アバンセ)

平成 19 年度 第 1 回理事会報告

平成 19 年度佐賀県公立小中学校事務研究会第 1 回理事会が、平成 19 年 4 月 24 日 (火) に南多久公民館にて開催されました。その時の内容を報告します。

1. 会長より

- ・ 佐賀県公立小中学校事務改善検討委員会が平成 19 年 3 月 20 日に設置され、さっそく平成 19 年 3 月 22 日に第 1 回検討委員会が開催されました。これからは 2 月に 1 回ペースでの開催予定で、平成 20 年 4 月からの共同実施全県実施を当面の目標として協議を重ねていきます。
- ・ 4 月 20 日の教育再生特別委員会での小坂前文部大臣の「事務長を置いていただくことを願う」という発言、それに対して伊吹文部科学大臣の「事務長をおくことも大切だと思う」という発言があったことは全事研の取り組み、そして全国事務研の積み上げと考えられるのではないのでしょうか。今後の情勢がますます注目されるところです。

2. 情勢報告・協議等

① 中央情勢について

平成 19 年 3 月 29 日の中教審答申のことについて報告がありました。答申の中で『教育の質の向上のためには教員が子どもたちと向き合う時間の確保が重要であり、そのためには事務職員が学校運営へ積極的に関わり、教員の事務負担を軽減できるよう事務の共同実施の促進を図りその共同実施組織に管理職としての事務長(仮称)を置くことができるよう制度の整備を行う必要がある』と県立学校の事務長と同様、管理職としての事務長の位置付けを提言しています。

② 佐賀県公立小中学校事務改善検討委員会について

平成 19 年 3 月 22 日 第 1 回検討委員会発足

目的・・・将来の学校運営の諸課題に対応し、効率的な学校運営の推進を図るため、小中学校における事務・業務の共同実施、事務職員の資質向上など学校事務改善に関する調査、研究を行うため設置する。

第 1 回検討委員会では、下記メンバーにて主に共同実施に関する情報交換を行いました。

アクセス！ (<http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/>)

- ◎市町教育委員会（神崎市教育長・佐賀市学校教育課長（欠席、係長が代理出席）・武雄市学校教育課長（欠席、係長が代理出席））、
- ◎学校（県校長会より成和小学校長・有田中学校長、県教頭会より金泉中学校教頭・三日月小学校教頭）
- ◎教育事務所（藤津教育事務所長・佐城教育事務所長）
- ◎佐事研（小川会長・古川副会長）
- ◎県教委（早川副教育長＝委員長・教職員課長・教職員課参事）
- ◎事務局（教職員課副課長 2 名・教職員課人事主幹・才田主査・佐事研事務局長・研究部長）

常任理事会より、

- ・学校事務アンケートと検討委員会の関係はあるのかとの質問に、直接の関係はないとの回答。検討委員会は共同実施を主としているが、アンケートには共同実施に関する項目がないことから明らかであるとの説明がありました。
- ・第 1 回検討委員会開催の前に何度も厳しい交渉があり、「共同実施さえすればよいのだろう」、「人事交流さえすればよいのだろう」という県教委側の考えに対して、共同実施をベースにして事務処理規定・人事制度・研修制度等のトータルな学校事務の確立を望むものである事を何度も説明し理解してもらったという経緯報告がありました。

3. 今後の事務改革の方向性、会員配布資料について

前回理事会後に会員に配布された資料(事務改革協議に関する経過と今後の展望)をもとに各地区にて協議された内容の報告がありました。

年度初めの多忙な時期だったこともあり、協議の場を設けられなかった地区も多かったです。協議された地区からは次のような意見が出されました。

- ・現状の総務事務で手一杯。毎週、学校を空けるのはどうか・・・。
- ・人員削減につながるのでは。
- ・総務事務がなくなっていくという話を聞いて、少し危機感が出てきた。
- ・事務改革の方向性としては、共同実施だろう。県が音頭をとってほしい。
- ・学校にいてこそ存在意義があるので、共同実施には反対。合理化につながるのでは・・・。
- ・寝耳に水の印象。話し合う場がほしい。
- ・共同実施をやるのなら佐事研が主体となるより、県からの強制の方がまだまし。
- ・月 2 回程度の地区研修会で共同実施らしいことをやっているの、それでいい。
- ・年配者はついていけない。

4. 学校事務アンケートについて

4 月 18 日にアバンセで行われた説明会では不明な点が多く、佐事研からも修正について要望はしていますが、大幅な変更の可能性は少ないものと思われます。

アクセス！ [\(http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/\)](http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/)

また、このアンケートの結果だけから庶務事務のアウトソーシング(定数減・人員整理)が始まると考えるのは早計ではないかと思えます。そして、事務改善検討委員会の発足と結びつけて考えてしまう方も多いようですが、調査結果が議論の一資料となることはあっても検討委員会との直接の関係はないということを理解していただきたいと思えます。

5. 改善検討委員会の設置を受け、研究部共同実施研究班より

検討委員会設置・今後の会議進捗状況を受け、研究部共同実施研究班より、共同実施の全体的な広がりがすすまない現状の分析と 7 つの諸規定・諸要綱の提案がなされました。

「学校事務を原則一校一人体制で責任を持って処理してきた長い歴史の中で、学校における唯一の行政職員として自己を管理しながら職務遂行意識を継続しなければならなかったがために、共同で学校間を横断して事務処理をする「共同実施」に馴染めなかった」と分析結果から、共同実施の全県展開のために、①共同実施要綱②共同実施組織運営及び事務処理規定③共同実施協議会設置要綱④学校事務共同実施連絡協議会設置要綱⑤市町立小・中学校管理規則の改正⑥共同実施組織図⑦共同実施実践業務の各案が提案されました。

6. 第 22 回大会について

○期日・場所

5 月 25 日(金曜) 佐賀市 アバンセ

○日程(予定)

10 時 00 分～10 時 30 分 開会行事

10 時 40 分～11 時 30 分 総会行事(議長は杵西・唐松)

11 時 30 分～12 時 30 分 講演『心をつなぐ対話 ことばは心の架け橋』

講演者 副田ひろみ(フリーアナウンサー)

12 時 30 分～13 時 30 分 休憩

13 時 30 分～15 時 00 分 文部科学省 行政説明

『今後の学校事務のあり方と学校事務職員の役割について』(仮題)

(講演者 未定)

15 時 10 分～16 時 40 分 プレゼンテーション

『学校事務の現状と今後の事務改革について』(仮題)

プレゼンター 古川 治(佐事研副会長)

16 時 45 分 閉会

○総会の予定議案と検討課題

- ・ 1 号議案 18 年度事業報告について・・・事務局・研修部より提案
- ・ 18 年度補正予算について・・・事務局より提案(全事研福岡大会準備金等について)
- ・ 2 号議案 18 年度決算報告及び監査報告・・・事務局、監査委員より報告
監査報告は監査委員さんの都合上、会長あいさつの直後に行われました。
- ・ 3 号議案 役員の承認について

アクセス！ (<http://www.saga-ed.jp/workshop/sajiken/>)

各地区より選出の専門部役員については 4 月 27 日までに事務局次長へ報告。

常任理事については下記のとおり承認されました。

会長	小川洋起
顧問	森 清隆
副会長(三神地区)	近藤ひろ子
副会長(佐城地区)	鮎川慶一
副会長(唐松地区)	古川 治
副会長(杵西地区)	4 月 27 日に決定
研究部長	田中広信
研修部長	徳永良文
調査広報部長	外尾幸太郎
事務局長	金林克哉
事務局次長(総務)	古賀由美子
事務局次長(財務)	楢原英幸

・ 4 号議案 運営細則の改正について

第 2 条の 3 課題別研修班の設置について全事研福岡大会研究発表班が追加され、課題別研究班が改組されるため改正の提案がありました。

・ 5 号議案 19 年度事業計画・・・事務局・研修部より提案がありました。

・ 6 号議案 19 年度予算について

19 年度より福岡大会研究発表班が編成され研究活動を開始するに当たり全事研愛知大会(19 年)及び福島大会(20 年)への視察旅費等を確保するために大会冊子代を 19 年度から 20 年度の 2 カ年、現行 500 円から 1,000 円とすることが承認されました。なお、この措置で得られる財源は約 40 万円程度になる見込みです。

7. その他

・ 秋の大会(第 23 回大会)について

平成 19 年 10 月 25 日 (木) アバンセにて開催予定

・ 新理事はアドレス登録

・ 佐事研会費は 3,000 円 (全事研負担金 1,000 円 + 県事研会費 2,000 円)

・ 春の大会の参加費 + 弁当代は、研修部員へ

～お知らせ～

調査広報部では会員の皆様より記事の募集をしております。また、こういったテーマで記事を作って欲しいとか調べてほしいなどご意見がありましたら各地区調査広報部員まで連絡をお願いします。